

平成 27 年 6 月 22 日

国立情報学研究所

学術コンテンツ課

平成 27 年度 SPARC Japan セミナー企画ワーキンググループ (WG) の設置について

1. ミッション

平成 27 年度に開催する SPARC Japan セミナー（年 4 回）の企画・実施を行う。WG メンバー全員で年度を通したテーマの割り振りを検討する。テーマ決定後は、各回を 2 名の WG メンバーで分担し、具体的なセミナーを企画・実施する。

2. WG 任期

平成 28 年 3 月 31 日（木）まで

但し、次年度以降の継続も可能とする。

3. 作業詳細

具体的には、以下の事項を扱う。

- ・ SPARC Japan 運営委員会にて別表 1 の通りテーマ（案）が出ているので、こちらを参考に通年のテーマを定めると共に、通年テーマを踏まえてセミナー各回のテーマを定める。
- ・ 主査として参加するセミナーを決めて、プログラムを企画する。
- ・ 講演者の選定と打診、企画趣旨の広報用の文案・チラシ(A4 両面)を作成する。
- ・ 当日の司会、趣旨説明、パネルディスカッションのモデレーターを行う。
- ・ セミナー後のニュースレターの作成（A4 両面程度）等にあたる。
- ・ 各回の企画・実施補助は適宜追加可能とする。

4. 会議開催回数

回数：2 回（予定）

キックオフミーティング、及び主査となって参加するセミナーの事前打合せ等

時間：2 時間／回

他にメーリングリストでの意見交換

5. スケジュール

6月～7月	キックオフミーティング 第1回セミナー日程調整、講師選定・打診	
8月～9月	第1回セミナー 第2回セミナー日程調整、講師選定・打診	(セミナー事前打合せ)
10月	第2回セミナー (OA サミット 2015) 第3回セミナー日程調整、講師選定・打診	(セミナー事前打合せ)
11月～12月	第3回セミナー 第4回セミナー日程調整、講師選定・打診	(セミナー事前打合せ)
1月～2月	第4回セミナー	(セミナー事前打合せ)

6. メンバー

研究者4名、図書館員4名とし、各回は研究者と図書館員のペアで実施する。

名前	所属・役職
蔵川 圭	国立情報学研究所 学術コンテンツ課 特任准教授
駒井 章治	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 准教授
林 和弘	科学技術・学術政策研究所 上席研究官
三根 慎二	三重大学 人文学部文化学科 講師
市古 みどり	慶應義塾大学日吉メディアセンター 事務長
梶原 茂寿	北海道大学附属図書館学術システム課 システム管理担当係長
星子 奈美	九州大学附属図書館 e リソースサービス室 リポジトリ係長
横井 慶子	東京大学附属図書館情報管理課資料管理係 一般職員

別表 1

平成 27 年度 SPARC Japan セミナー

開催日	テーマ(案)	WGメンバー	
		研究者	図書館員
8月～9月	・学術情報流通基盤に関する現状と課題について俯瞰するようなテーマ ・諸外国におけるオープンアクセスに関連する政策、方針の最近の動向 ・日本におけるオープンサイエンスの推進におけるオープンアクセス、オープンデータの基本的考え方	国立情報学研究所 学術コンテンツ課 特任准教授 蔵川 圭	慶應義塾大学日吉メディアセンター 事務長 市古 みどり
10月第4週 オープンアクセスサミット2015 Open for Collaboration	・オープンアクセスとオープンデータの関係 ・研究データのオープン化について、海外の大学・機関の取り組み事例 ・社会科学におけるデータ、Journalの状況等 ・研究データマネジメントにおける図書館の役割 (研究データマネジメントプラン作成ワークショップ) ・データの「記述」、「ディスクリプタ」とは何か ・ICSU-CODATAのデータ引用に関するワークショップとの連携 ・諸外国におけるオープンアクセスに関連する政策、方針の最近の動向	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 准教授 駒井 章治	北海道大学附属図書館 学術システム課システム管理担当 係長 梶原 茂寿
11月～12月	・フランスにおけるオープンアクセスの動向 ・日本の学協会のオープンアクセスの現状と課題(大学図書館向け) ・APCに関する助成団体について、海外の事例(例えば英国のJISC)紹介 ・分散リポジトリ連携か、集約型リポジトリかを中心としつつ、SHARE/CHORUSとの関係を論じる ・STMによるArticle sharing guidelinesと日本の将来における資源共有の方向性	科学技術・学術政策研究所 上席研究官 林 和弘	九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係長 星子 奈美
1月～2月	・SPARC/COAR連携への日本の対応 ・「研究力強化」「大学ランキングのアップ」 ・図書館とURAのコラボレーション ・図書館からの学術出版の最近の動向 ・学会における学術情報発信	三重大学 人文学部文化学科講師 三根 慎二	東京大学附属図書館情報管理課資料管理係 一般職員 横井 慶子